第2回合同地域学校協働本部推進会議を開催

10 月 22 日（木)、サンアゼリア会議室にて第２回合同地域学校協働本部推進会議を開催しました。

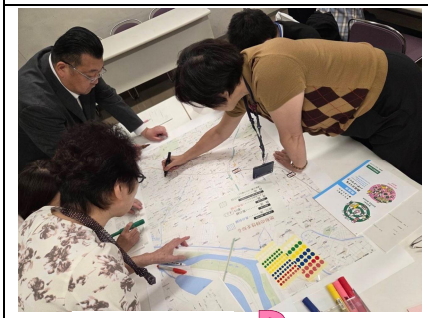
今回は３つの中学校区合同で、「災害図上訓練」｛(D) Disaster(I) Imagination (G) Game の頭文字をとったもの｝を実施しました。DIG は大きな地図をみんなで囲み、災害をイメージして地域の課題を発見し、災害対応や事前の対策などを検討するための手法の一つです。７グループ、（３つの中学校区の管理職、地域連携担当の先生、地域、保護者、公民館長）に分かれ、体験をしました。自分たちの住む地域の地図をみんなで覗き込んで「わいわいがやがや」と語り合いながら作業を進めていく中で、地域のリスクや課題が浮かび上がってきました。



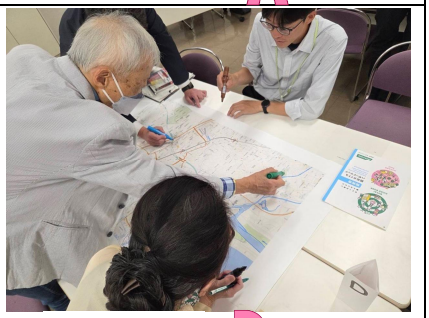
講師　浅井員武様

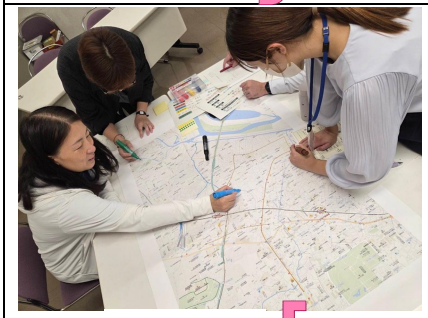

生涯学習課長の挨拶


グループ A


グループ B


グループ C


グループ D


グループ E


グループ F


グループ G

参加者の感想を紹介します。(一部抜粋)

・本日の作業を振り返り、学校で子どもたちと一緒に考えたいと思います。
・長年住んでいますが、自分の目の届くところしか知りませんでした。緊急時には何か一つ役に立てる行動をしたいと思いました。
・和光市の地理的環境を再認識しました。日頃自分たちがどう行動するかということを考えておくことが必要です。
・地震が起こった時に、慣れ親しんだ本町地区にいれば避難の方法も分かりますが、和光市の北や南にいたときにどのように行動するかを考えるきっかけになりました。市全体を知っておくことが大切です。
・常日頃から地域を知る、そういう視点で地域をみていくことが大切です。
・田や畑だったところに住宅が建ってきました。斜面は崩れる心配があり道路の整備ができていないと避難できません。道路整備は建つ前にすることが必要です。